7 こんなときは

7.1 ユーザーID またはパスワードを忘れたとき

ユーザーID またはパスワードを忘れたときは、管理責任者または統括管理責任者にお問い合わせください。
初回ログイン済み（パスワード変更済み）の場合は、管理責任者または統括管理責任者によりパスワードのリセットを行う必要があります。

ご注意

- ユーザーID、パスワードは、個人を特定する重要な情報です。他者との共有や他者への貸出しを行わないでください。
- パスワード漏洩のリスクを減らすため、パスワードのメモを作成しないでください。また、使用する端末にパスワードを記憶させないでください。
- パスワード漏洩のおそれがある場合には、パスワードを変更してください。

7.2 認証コードが届かないとき

しばらく経っても認証コード送信メールが届かない、もしくは認証コードの有効期限が切れた場合、認証コードを再送してください。

1. 「認証コード再送」を押す

2.　「再送」を押す

《認証コード入力》画面に戻ります。

ご注意

上記の対応で解決しない場合は、OBD 検査ポータルのよくある質問を確認してください。

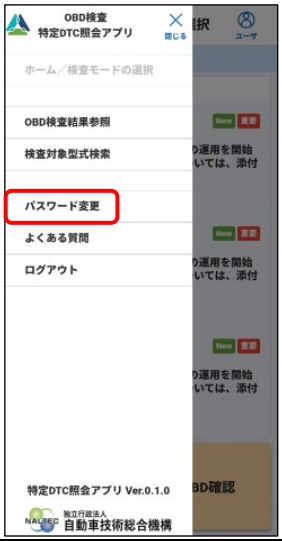
7.3　パスワードを変更したいとき

事前に登録された利用者のパスワードを変更します。

ご注意

- 本アプリは特定 DTC 照会アプリ【Windows】と OBD 検査結果参照システムのパスワードは共通です。
- 本アプリでパスワードを変更すると、特定 DTC 照会アプリ【Windows】と OBD 検査結果参照システムにログインする際は変更後のパスワードを入力する必要があります。

1.　画面左側のメニューから「パスワード変更」を押す

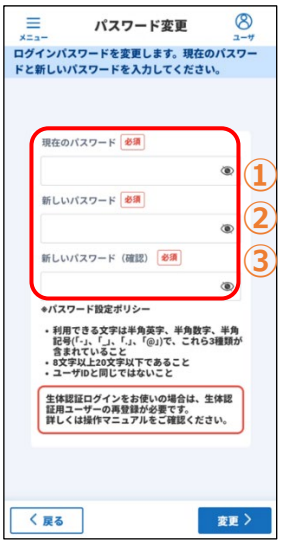


2. パスワードを入力する

① 「現在のパスワード」に現在のパスワードを入力します。

② 「新しいパスワード」に新たに決めたパスワードを入力します。

③ 「新しいパスワード（確認）」に②で入力したパスワードと同じパスワードを入力します。



ご注意

パスワードは、以下の条件をすべて満たす必要があります。

- 以下の 3 種類を、それぞれ 1 文字以上使用すること
  半角英字：A～Z、a～z
  半角数字：0～9
  半角記号：「-」「_」「.」「@」
  例）Abc@92_i
- 8 文字以上 20 文字以下で、ユーザーID と異なる文字列であること
- 現在使用中のパスワードと異なる文字列であること

3.　「変更」を押す

4.　変更完了メッセージを確認し、「戻る」を押す

以上で、パスワードの変更の操作は完了です。次回からは、設定した新しいパスワードでログインしてください。

ご注意

生体認証ログインを行っている場合は 本機能のパスワード変更を行った際に、次回ログイン時に生体認証ログイン用ユーザー情報の更新が必要となります。

詳細は、「7.4 生体認証でログインしたいとき」を参照してください。

7.4　生体認証でログインしたいとき

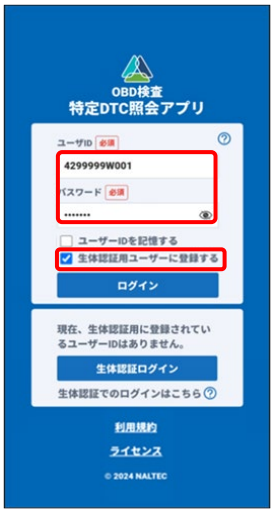
利用端末に生体認証機能が搭載されており、生体認証情報が登録されている場合は、アプリのログイン機能として生体認証を利用することが可能です。

ご注意

- 利用端末によっては、アプリのログイン機能で生体認証を使用できない場合があります。
- 複数の生体認証情報を登録した場合は、最後に登録した生体認証情報のみ利用可能となります。

■生体認証ログインする（初回）

1.　「ユーザーID」と「パスワード」を入力し、「生体認証用ユーザーに登録する」にチェックを入れる



2.　「ログイン」を押す

3. 端末に登録されている生体認証情報で認証する

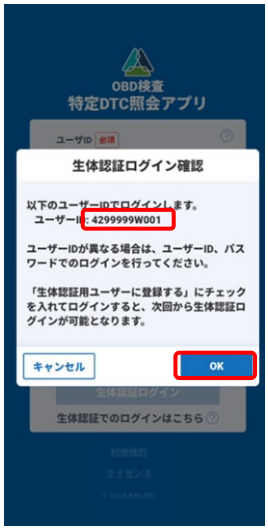
ユーザーID とパスワードに間違いがなければ、次回から生体認証でログインすることが可能となります。

認証成功となったら、《ホーム（お知らせ）》画面が表示されます。

■生体認証ログインする（2 回目以降）

1. 「生体認証ログイン」を押す

2. ログインするユーザーを確認し、「OK」を押す



3. 端末に登録されている生体認証情報で認証する

端末に登録されている生体認証で認証成功となったら、《ホーム（お知らせ）》画面が表示されます。

ご注意

- 生体認証ログインを行っているユーザーがパスワード変更を行った際は、次回ログイン時に生体認証ログイン用ユーザー情報の更新が必要となります。
  詳細は、「7.4 生体認証でログインしたいとき」を参照してください。

7.5　車台番号に漢字が記載されているとき（職権打刻）

電子車検証または車検証等の車台番号に漢字が使用されているときは、アプリの「職権打刻」を選択して車台番号を入力します。

メモ

職権打刻とは、自動車の車台番号が腐食などにより識別困難となった場合に、運輸支局等の職権で車台番号を打刻することです。

例:国[01]xxxxx、東[41]xxxxx 東、大[61]xxxxx 大(xxxxx は数字)

1.　《車両情報手入力》画面で「職権打刻」を押す

《職権打刻入力》画面が表示されます。

2.　車台番号を入力して確定する

No.	項目	説明
①	車台番号	各ボタンで入力した情報が表示されます。この欄の内容が、電子車検証または車検証等の車台番号の記載と同じ状態になるように入力します。
②	国	車台番号に「国」が記載されている場合、このボタンを押します。
③	運輸局	車台番号に「国」が記載されていない場合は、職権打刻の文字に応じた運輸局を選択します。 運輸局と運輸支局の略字（漢字）対応については、「9.3 運輸局・運輸支局名一覧（職権打刻）」を参照してください。
④	運輸支局	③で運輸局を選択した後、運輸支局を選択します。運輸支局を選択すると、漢字と[数字]のセットが表示されます。 例）「関東」を選択して、「神」を押した場合 運輸局と運輸支局の略字（漢字）対応については、「9.3 運輸局・運輸支局名一覧（職権打刻）」を参照してください。
⑤	数字	車台番号の一連番号部分を入力するときに押します。数字は、自動的に運輸支局の最後の漢字の前に挿入されます。（「国」の場合は末尾に挿入） 例）「1」「2」「3」「4」「5」「6」「7」を続けて押した場合
⑥	一文字削除	⑤で挿入した数字を 1 文字削除します。
⑦	閉じる	入力した車台番号を確定せず、この画面を閉じます。
⑧	クリア	車台番号（①）の内容をすべて削除します。
⑨	確定	入力した車台番号を確定して、この画面を閉じます。

「確定」を押すと、入力した車台番号を反映して《車両情報手入力》画面に戻ります。

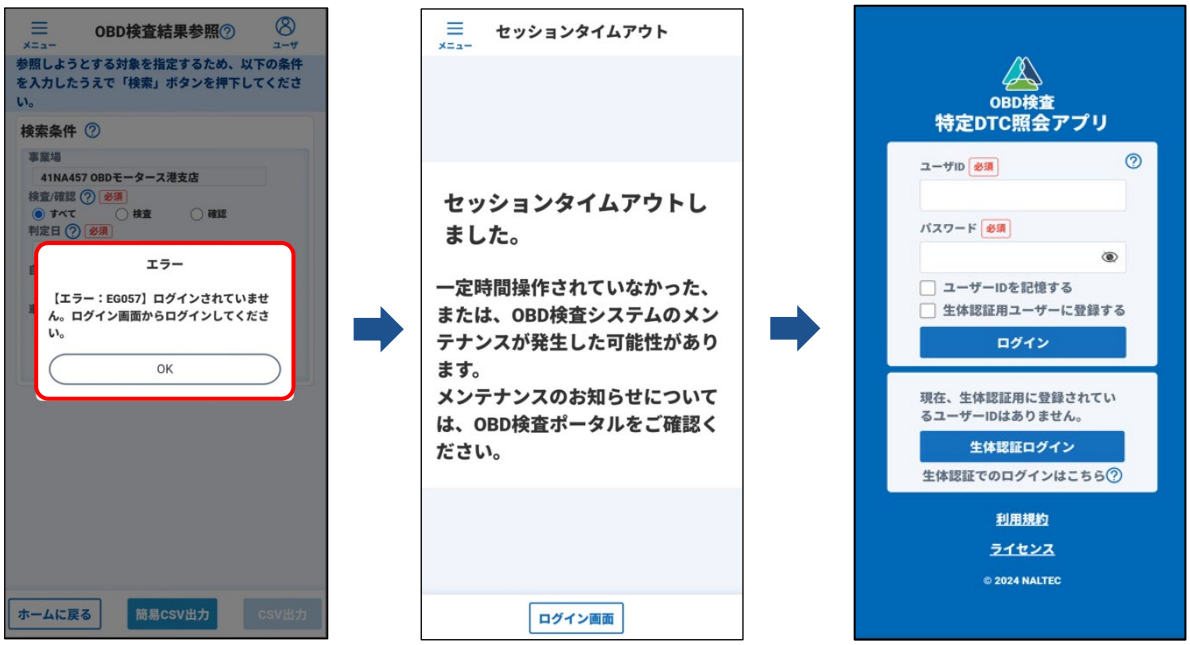
メモ

車台番号は、全角 1 文字＋［半角数字 2 桁］＋半角数字＋全角 1 文字（「運輸局」で「国」を選択した場合、末尾の全角 1 文字はなし）の形式で入力してください。

以上で、職権打刻の場合の車台番号入力の操作は完了です。

7.6　「セッションタイムアウト」が表示されたとき

アプリにログインしたまま一定時間操作しないと、エラーメッセージが表示されログアウトとなります。
「ログイン画面」を押して再度ログインを行うか、アプリを終了させてください。



7.7　OBD 検査結果を参照したいとき

OBD 検査や OBD 確認を実施した車両については、検査の判定日や車両情報をもとに検索することで、過去の OBD 検査結果を確認することができます。

事業場で実施した OBD 検査の結果を外部システムなどに取り込む場合には、CSV 形式で出力できます。

印刷して OBD 検査の結果を確認したい場合、自動車使用者の方への説明などに活用したい場合には、PDF ファイルとして出力できます。

ご注意

OBD 検査結果には機密情報が含まれているため、取り扱いには十分注意してください。

メモ

検索条件として設定できる判定日の範囲は最大で 3 年間となります。

1. メニューから、「OBD 検査結果参照」ボタンを押す

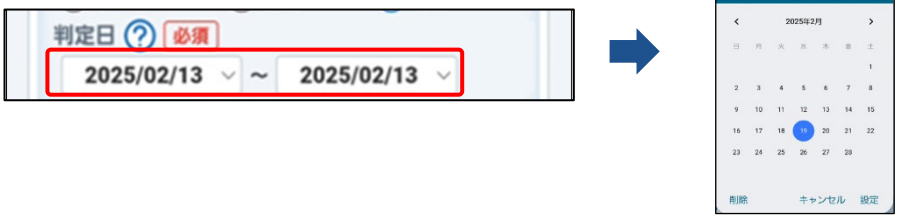
所属する事業場で実施した OBD 検査や OBD 確認の結果から、確認したい対象を絞り込んで検索できます。

2. 「検査／確認」で、確認したい検査結果を選択する

ボタン	説明
すべて	OBD 検査、OBD 確認両方の検査結果を検索します。
検査	OBD 検査の検査結果を検索します。
確認	OBD 確認の検査結果を検索します。

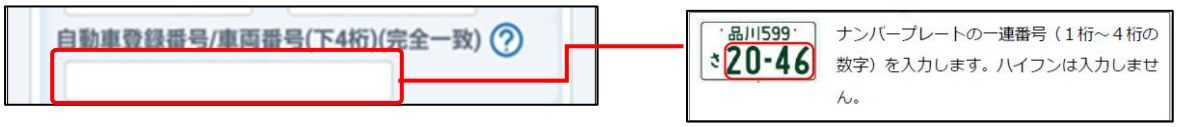
3. 確認したい検査結果の判定日を指定する

判定日とは、OBD 検査判定日（検査を実施した日）です。
日付の入力欄を押して、カレンダー表示から判定日の期間（開始年月日から終了年月日）を指定します。期間は、3 年以内で指定してください。

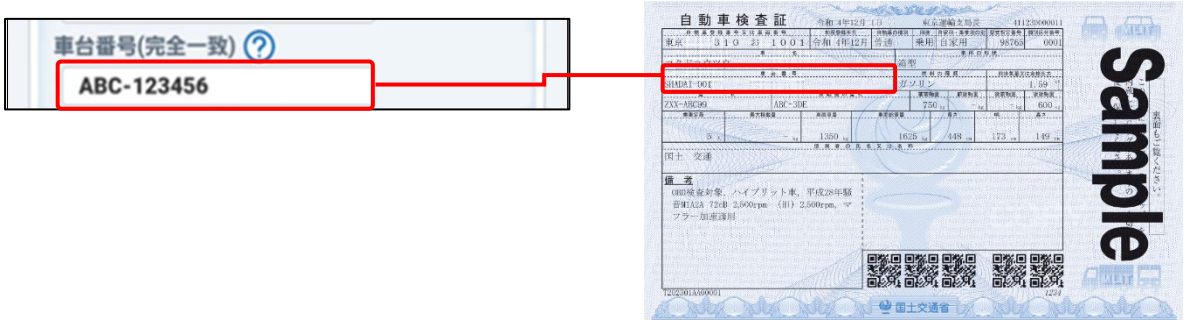


4. 必要に応じて、自動車登録番号または車両番号の下 4 桁（数字部分）を入力する

自動車登録番号または車両番号は、車検証またはナンバープレートに記載されています。



5. 必要に応じて、車台番号を入力する



6. 「検索」を押す

7. 検索結果を確認する

検索結果が表示されます。

検索結果が多い場合は、必要に応じて「残りを全て見る」を押して、画面を下にスクロールして確認します。

No.	項目	説明
①	検査結果	検査結果の適合／不適合が表示されます。 メモ OBD 確認の場合、「適合」「不適合」の表示は、実際の検査結果とは関係ありません。
②	操作	「詳細」を押すと、OBD 検査結果の詳細が表示されます。 「6.1 OBD 検査結果の詳細を表示する」を参照してください。
③	簡易 CSV 出力	15 日前以降の検査結果 CSV ファイル「OBD 検査結果参照」を出力します。
④	CSV 出力	CSV ファイル「OBD 検査結果参照」を出力します。

必要に応じて、OBD 検査結果の詳細を CSV ファイルに出力します。出力した CSV ファイルは、外部のシステムに取り込んで利用することもできます。CSV 出力には、以下の 2 種類があります。

種類	出力ファイル名	出力内容
簡易 CSV 出力	OBDRESULT_SIMPLE_[事業場 ID].csv	15 日前以降の OBD 検査モードで実施した簡易的な検査結果（車台番号、判定日時、検査結果）が出力されます。 **ご注意** OBD 確認モードの結果は出力されません。
CSV 出力	OBDRESULT_yyyymmddhhmmss_[事業場 ID].csv	車台番号、判定日時、検査結果などに加えて、排ガス OBD および安全 OBD の検査結果が出力されます。

メモ

CSV 出力の操作は、上記の種類すべてにおいて共通です。

8. 「CSV 出力」を押して、CSV ファイルをダウンロードする

9. 「簡易 CSV 出力」を押して 15 日前以降の検査結果をダウンロードする

以上で、OBD 検査結果の CSV ファイルへの出力の操作は完了です。

7.8　検査対象型式を検索したいとき

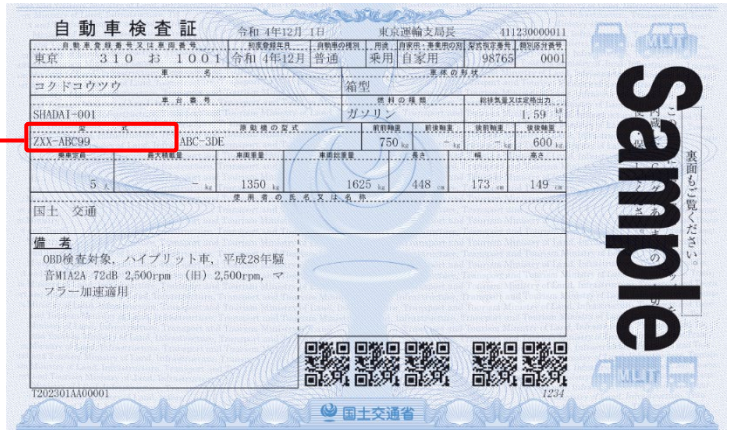
型式および初度登録年月または初度検査年月をもとに検索することで、OBD 検査の対象車両であるか確認することができます。また、OBD 検査の対象車両である場合は、検査用スキャンツールを接続するための車両側の接続端子の位置情報などを確認することができます。

ご注意

電子車検証または車検証等に記載されている型式などの情報が必要です。

1.　メニューから、「検査対象型式検索」を押す

2.　「型式」を入力する



3. 「初度登録年月または初度検査年月」を入力する

メモ

登録自動車の場合は「初度登録年月」、軽自動車の場合は「初度検査年月」として記載されています。

4. 「検索」を押す

5. 検索結果を確認する

検索した車両の型式が OBD 検査の対象の場合、以下のうち最も遅い年月日が表示されます。

- OBD 検査の検査開始年月日
  （令和６年１０月１日（輸入車は令和７年１０月１日））
- 諸元表の「指定年月日/新型届出年月日」から 2 年後の年月日
- 「初度登録年月」または「初度検査年月」から 10 か月後の年月日

検索した車両の型式が OBD 検査の対象の場合、「接続端子の位置情報」の欄に「詳細」ボタンまたは「準備中」が表示されます。

- 「詳細」を押すと、OBD 検査時に車両と検査用スキャンツールを繋ぐ接続端子の位置情報を確認できます。
- 「■データリンクコネクタの位置を確認する」を参照してください。
- 「準備中」は、OBD 検査に必要な情報がメンテナンス中の場合に表示されます。この場合、接続端子の位置情報は確認できません。

検索した車両の型式が OBD 検査の対象かどうかが表示されます。

検索結果が多い場合は、必要に応じて画面一番下の「残りを全て見る」を押して、画面を下にスクロールして確認します。

7.9　誤って OBD 確認で検査をしてしまったとき

指定工場の完成検査において、OBD 検査モードで検査すべきところを OBD 確認モードで検査してしまったときは、《ホーム》画面に戻り OBD 検査モードを選択したうえで検査をやり直してください。

7.10 アプリが起動できないとき

インストール済みのアプリが起動できないときは、以下を確認してください。

- 必要な容量が十分であるか

  詳細については、「■アプリの動作環境」（P. 11）を参照してください。

7.11 アプリにログインできないとき

アプリにログインできない（《ログイン》画面でエラーが発生する）ときは、以下を確認してください。

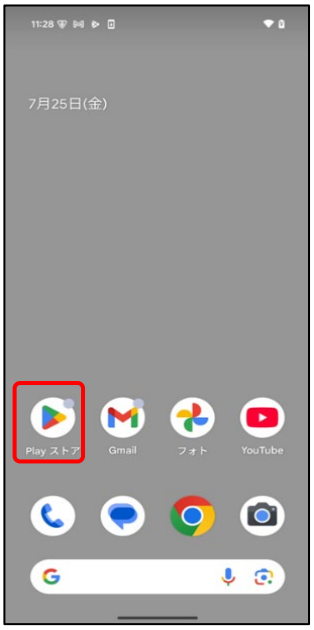
- 端末のインターネット接続が切断されていないか

  詳細については、「■アプリで OBD 検査を行うための条件」（P. 11）を参照してください。

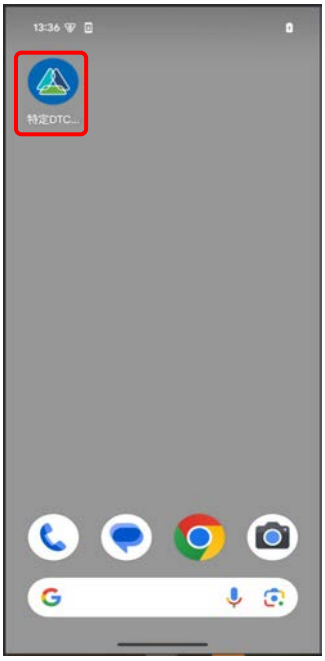
7.12 アプリをインストールしたいとき

本アプリは Google play store より入手可能なため、以下の手順をご確認ください。

1. 端末の Google Play Store を起動して、「特定 DTC 照会アプリ」と検索する



2. 「特定 DTC 照会アプリ」をインストールする



7.13 アプリをアップデートしたいとき

アプリのバージョンアップ画面が表示されるのは起動時もしくはログイン時です。インストールしているアプリは不定期的にアップデートが行われるため、画面の表示に従ってアップデートを行ってください。

「更新」を押すと、特定 DTC 照会アプリ【Android】は終了し、自動的に再起動します。

「×」（アップデートしない）を押すと、アプリは起動できません。

「詳細」を押すと、アップデートの情報が表示されます。

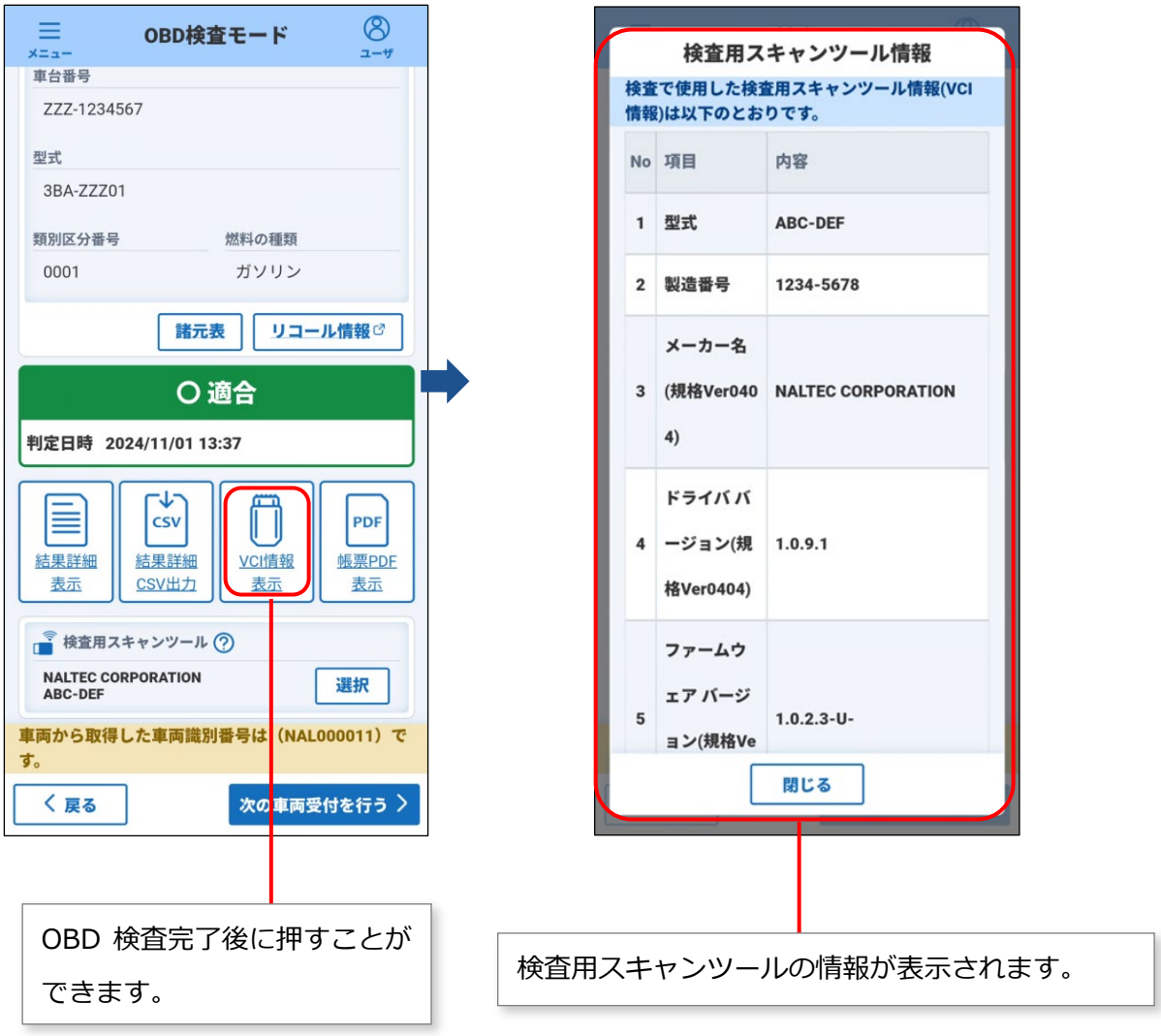
メモ

アプリ起動時だけではなく、Google Play Store や Android の設定画面からでもアップデートできます。

7.14 使用した検査用スキャンツールの情報を確認したいとき

OBD 検査で使用した検査用スキャンツールの型式等、詳細な情報を確認することができます。

確認したい場合は、「VCI 情報表示」を押してください。



メモ

検査用スキャンツールが認定されているかの確認方法については OBD 検査ポータルの、「OBD 検査で使用する機器」に掲載しています。

《OBD 検査ポータル》

OBD 検査で使用する機器 / 検査用スキャンツール（必須）

https://www.obd.naltec.go.jp/mainte/device/

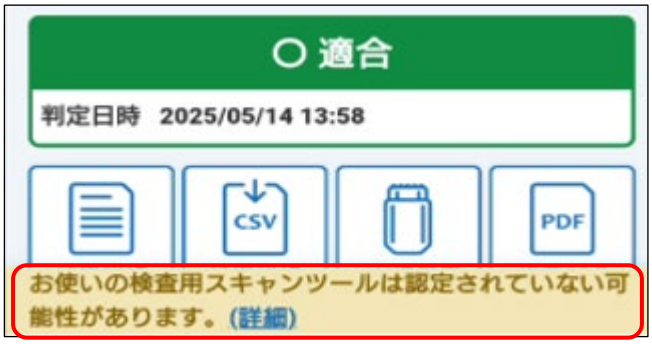
7.15 『車両との通信ができませんでした。』のメッセージが表示されたとき

OBD 検査実施後、「車両との通信ができませんでした。」とメッセージが表示された場合は、「詳細」リンクを押して、表示される案内に沿って以下の操作を行ってください。

- 車両の原動機を始動している（ハイブリッド車、電気自動車は READY にしている）ことを確認してください。
- 検査用スキャンツールの接続端子とデータリンクコネクタとの隙間に異物が混入していないか確認してください。
- データリンクコネクタに検査用スキャンツールの接続端子が確実に差し込まれているか確認してください。

7.16 検査用スキャンツールに関するメッセージが表示されたとき

OBD 検査実施後、「お使いの検査用スキャンツールは認定されていない可能性があります。」とメッセージが表示された場合は、「詳細」リンクを押して、内容を確認してください。



このメッセージが出たら、一般社団法人日本自動車機械工具協会の HP にて、お使いの検査用スキャンツールが認定されているかどうかをご確認ください。

認定されていない（認定されているものと、型式、ドライバ・バージョン、ファームウェア・バージョンのいずれかが異なる）

お使いの検査用スキャンツールは、ご使用できません。

認定されている場合（OBD 検査システムに型式またはバージョンの情報がまだ登録されていない）

認定されてから間もないため、OBD 検査システムに型式またはバージョンの情報がまだ登録されていない状態です。

そのまま OBD 検査および OBD 確認にご利用いただけます。

なお、OBD 検査システムに登録されるまでの間は、検査場への持込検査の際の OBD 検査省略はされませんのでご了承願います。（およそ 3 週間で登録されます）

7.17 本アプリで画面の崩れが発生したとき

本アプリで画面の表示が崩れたり入力枠の位置がずれる場合は、端末のフォントサイズや表示サイズが大きく設定されている可能性があります。端末のフォントサイズや表示サイズの設定を適切な大きさに調整してお試しください。

例 : 端末の設定画面の「ディスプレイ」 項目で、フォントサイズや表示サイズを調整することができます。

※端末により設定画面は異なります。

7.18 USB/Bluetooth 機器への権限確認画面が表示されたとき

《Bluetooth 権限確認》画面が表示された場合

はじめて Bluetooth、および USB を使用して検査を実施する場合、以下の画面が表示されます。

端末の Bluetooth がオンになっていることを確認して、「許可」を押してください。

《Bluetooth 権限確認》画面以外で Bluetooth 権限の設定を行いたい場合は端末の「設定」アプリを開き、「アプリ」をタップします。

「特定 DTC 照会アプリ」を選択し、「権限」から「付近のデバイスの権限」を設定します。

《USB 機器への権限確認》画面が表示された場合

はじめて USB を使用して検査を実施する場合、以下の画面が表示されます。

端末本体と USB コードが接続されていることを確認して、「OK」を押してください。

《USB 機器への権限確認》画面で「キャンセル」が押された場合、無線対応の検査用スキャンツールを使用している場合は Wi-Fi、または Bluetooth で接続します。

USB ケーブルを抜き、再接続すると、再度《USB 機器への権限確認》画面が表示されます。